



土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 平成30年度 二級河川 瀬野川水系 三谷川 通常砂防事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 砂防 砂防

ボーリング名		B1-N.4		調査位置		広島県安芸郡熊野町出来庭地内（椎川支川2溪流）					北緯		34° 20′ 37.2046″				
発注機関		広島県西部建設事務所					調査期間		2020年 8月 31日 ～ 2020年 9月 3日					東経		132° 34′ 24.4672″	
調査業者名				主任技師			現 場 代 理 人		コ ン 定 者		ボーリング責任者						
孔口標高		T.P. 290.31m		角 度		方位		地盤勾配	鉛直 90° 30°	使用機種	試験機 東邦地下工機 DI-C						
総削孔長		6.00m									エンジン		ヤンマー NFD 12		ポンプ		東邦地下工機 BG 3C

標尺	標高	深度	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験							試料採取	室原位置試験	削孔月日			
												深度－N値図		N値	深 度	100mmごとの打撃回数						打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
(m)	(m)	(m)																						
1				雑混じりシルト混じり砂		褐		rd2	新生代第四紀	0.15m付近までは表土。木根、草根を含む。以深、やや均質な砂質土。G <sub>1</sub> 1.7m付近に表土様の暗色土塊を含み、堆積土と判断される。確分は細砂が主体をなす。砂分は細中砂からなる。含水は低く、乾燥状態にある。			5	1.13	1	2	5	420						
2	288.41	1.90		玉石混じり砂		灰褐							9	1.47	2	5	9	300						
3	288.11	2.20		雑混じりシルト混じり砂		淡褐		rd2		やや粒度分布の良い砂主体。岩組織を認めないことから堆積層と考えたが、強風化土の可能性はある。			125	2.35	2	5	9	300						
4	287.51	2.80		強風化花崗岩					中生代白亜紀	花崗岩の強風化部（軟岩I）。岩組織はきわめて明瞭となる。弱固結状～半固結状様コアをなす。深度とともに固結度は高まり、G <sub>1</sub> 4m付近より深部は指圧不可能となる。ただし、顕著な岩芯風化を伴い、岩片は軟らかい。H級。			79	2.68	12	5	50	120						
5	285.01	5.30		弱風化花崗岩		淡黄灰							88	3.19	21	29	50	190						
6	284.31	6.00				淡灰				花崗岩の弱風化部（軟岩II）。急激に風化程度は弱まり、セラストーンの可能性はある。コアは長さ10～30cmの柱状を呈す。岩片は中硬質以上の硬さを保つ。G <sub>1</sub> 5.83m付近の割れ目には、弱いマサ状風化を伴う。CM級。			6.00	貫入不能			50	0					9/1	
7																								